

1年1組 算数科学習指導案

令和6年6月26日(水) 第5校時
場 所：1年1組教室 (TT)
授業者：

1 単元名「のこりはいくつ ちがいはいくつ」

2 本時について

- (1) 本時のねらい：具体的な場面で、どんな計算になるかを考え、加法、減法の演算決定をし、立式して答えを求めることができる。
- (2) 本時の展開 (10 / 11)

段階	学習活動 (児童の活動の言葉で書く)	研究の具体的方途
<p>つかむ</p> <p>考えをもつ</p> <p>考えを深める</p> <p>考えをたしかにする</p>	<p>1 既習内容を確認する。</p> <p>2 問題をつかむ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>㉞ りすが4ひき いました。3ひき きました。 ぜんぶで なんびきに なりましたか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>㉟ おりがみが 4まい あります。 3まい つかいます。 のこりは なんまいですか。</p> </div> </div> <p>どんな計算をしたら、答えを求めることができるかな。</p> <p>・4-3かな。 ・どちらもひきざんでいいのかな。</p> <p>3 課題を生み出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>たしざんか ひきざんか かんがえて、しきをかいてこたえよう。</p> </div> <p>4 自分の考えをもつ。</p> <p>○ブロックで ○図で ○問題文の言葉から</p> <p>㉞  きました → たしざん $4+3=7$ <u>こたえ7ひき</u></p> <p>㉟  つかいます → ひきざん $4-3=1$ <u>こたえ1まい</u></p> <p>5 考えを交流する</p> <p>・ブロックや図で立式の根拠を説明しながら、それぞれの問題の式と答えを発表して、確認する。</p> <p>・ペア交流後、全体で交流し確認する。</p> <p>6 まとめをする</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="width: 45%;"> <p>ぶろっくや ずを つかうと、 たしざんか ひきざんか わ かり、ただしく しきが たて られる。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>もんだいの ことばを みると、たしざんか ひき ざんか わかる。</p> </div> </div> <p>7 評価問題をする</p> <p>❖ 1の問題に取り組む。 先生問題に取り組む。</p>	<p>・これまで、引き算の問題を解いてきたことを想起する。</p> <p>・どちらも4と3を使って立式するが、場面状況が違うことに気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【研究内容1に関わって】</p> <p>②問題解決のための手立ての工夫</p> <p>・既習事項の確認ができるように、キーワードを提示する。</p> <p>・ブロックを準備し、操作しながら考えることで、たし算かひき算か求めることができるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【研究内容2に関わって】</p> <p>③伝え合う活動を充実させるための手立ての工夫</p> <p>・自分はどの考え方を使ったのかを明確にして相手に伝え、ブロック操作や図を指し示しながら、キーワードを使って、自分の考えを話すことができるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><評価規準></p> <p>問題文から状況をつかみ、正しくブロックを操作したり図で表したりすることができる。</p> <p>【思考・表現】</p> <p>A 操作しながら説明ができる。</p> <p>B ブロックを操作したり、図に表したりすることができる。また、それを見て場面を理解することができる。</p> <p>C ブロック操作や図で表すことができない。</p> </div>